

# 土佐のわらべ

第420号《第442回（2016. 11. 10）子どもの本の読書会記録》参加者7人・文書参加3人

## 『ふしぎな木の実の料理法』 岡田淳/作 理論社

この本は、楽しい本です。  
こそあどの森は、魅力的な場所です。  
そこに住んでいる住人達も、それぞれ  
個性的で、大好きになれます。  
所々に入っているイラストが  
またすごく、こそあどの森の世界に  
心を引き寄せます。  
皆の家の素晴らしいこと、憧れます。  
本当に、楽しくページがめくれる本です。  
『ふしぎな木の実の料理法』は  
こそあどの森の物語の1冊目です。  
ここから、たくさんの物語が  
ふくらんで広がっていきます。  
まず、1冊目は、固い固い木の実を  
どうやって料理するのかです。  
こう書くと、簡単そうですが、これが  
中々、そうはいきません。  
ですが、探し出した料理法は  
とても素敵です。素敵な料理法で作られた  
料理のお味は、どんなでしょうか？  
ぜひ読んでみてください。  
そして、舌にどんな味がするだろうと  
思いえがいてみてください。

㊦の森でもなければ  
㊧の森でもない  
㊨の森でもなければ  
㊩の森でもない  
こそあどの森 こそあどの森

こそあどの森は、どこか遠くの  
夢の森に思えたり、  
すぐ近くの、不思議の森に思えたりして、  
私は、いつか迷いこめるのではないかと  
期待します。  
ぜひ、この森の一員として暮らしてみたい。  
そんなふうに思える、本当に豊かな物語が  
つまった森に出合えました。

こそあどの森の物語シリーズ、  
どの物語も好きですが、  
私が特に、大好きなのは、  
『まよなかの魔女の秘密』  
『ユメミザクラの木の下で』  
『ミュージカルスパイス』です。

(M.O)